

授業改善プラン

教科（ 数学 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは太字

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	基礎基本の定着を図り、3 年間の基礎を作っていく。また、文字式に関しては、方程式・関数に必要な要素になっていくので、計算力の向上を目指す。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、数学で学習する言葉や公式は、見ないでも言えるようにしているについて、どちらかという当てはまらない、当てはまらない、合わせて約 40 ポイントであることから、計算はできていても、説明するための下地になる用語については理解が薄いと考えられる。	授業の導入の際に、前時で学習した用語、公式について繰り返し確認していく。 Chromebook で、どの場面で公式が活用するかを調べる機会を設ける。		
	思考力・判断力 表現力	問題文の趣旨を考えること、既習事項を組み合わせて、自己の考え方を表現することを目指す。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、問題文の内容を図や表、グラフに表しているかについて、どちらかという当てはまらない、当てはまらないを合わせて 46 ポイントであったので、問題理解のための指導が必要である。	問題に対して、具体的な図・表・グラフなどを例示していくと共に、 グラフがかけるサイトの共有・活用を進め、説明する能力を養っていく。		
	主体的に学習に取り組む態度	毎授業、本時の振り返りと、自己の振り返りが行えており、課題点について考えることができた。	授業の 振り返りシート で、具体的に本時の内容や自己の学習状況について、記述できているものもあるが、抽象的な振り返りも多く、学習内容の改善に繋がらないことも多々ある。	振り返りシート の具体的記述や次回に生かす内容を声掛けをすると同時に、 振り返りシートにコメントを返していく。		
2 年 生	知識・技能	学習会は効果的であった。そのため、進捗を速めて、個々の振り返りの時間を設け、わからない部分を明確化させていく。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、途中の計算を書いている生徒が東京都全体よりも 11 ポイント低く、躓きの部分が明確になっていない。	途中式の指導、計算の方法を確認する。授業の導入で、計算の練習を行う。		
	思考力・判断力 表現力	考えの共有は見方を広げ、多くの意見が出やすかった。そのため、話し合いの場面を増やし、お互いの考えを知る機会を増やしていく。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、問題文の内容を図や表、グラフに表しているかについて、当てはまらないが 50 ポイントであったので、問題理解のための指導が必要である。	問題に対して、具体的な図・表・グラフなどを例示していくと共に、 グラフがかけるサイトの共有・活用を進めていく。		
	主体的に学習に取り組む態度	振り返りの時間の確保はできたが、質を高めることができなかった。振り返りも授業同様に、目的をしっかりと考えて取り組ませる。	授業の 振り返りシート で、具体的に本時の内容や自己の学習状況について、記述できているものもあるが、抽象的な振り返りも多く、学習内容の改善に繋がらないことも多々ある。	振り返りシート の具体的記述や次回に生かす内容を声掛けをすると同時に、 振り返りシートにコメントを返していく。		

授業改善プラン

教科（ 数学 ）

3 年 生	知識・技能	基礎基本の定着は図れた。応用問題についても、自力解決できる力が備わってきている。今後も、解く機会を増やし、考えさせていく。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習しているがどちらかという当てはまらない、当てはまらない、合わせて約 46 ポイントであることから、継続して基礎的な練習の必要性が見られる。	授業の導入で、計算の練習を継続して行っていく。		
	思考力・判断力 表現力	証明による説明ができる生徒が多かった。普段から自分の言葉で説明する機会を設けたことによる成果だと考える。今後も継続していく。	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうのかをかんがえているかについて、どちらかという当てはまらない、当てはまらない、合わせて約 40 ポイントであることから、学習の繋がりが薄いと考えられる。	問題を解く際や、解説の際に、前時の問題や、これまでの学習内容と共通していることや、学習してきたことの何が使えるかを問うようにしていく。		
	主体的に学習に取り組む態度	振り返りの場면을多くとることができなかった。1 時間の授業構成の仕方や振り返りの提示の仕方を改善していく。	授業の振り返りシートで、具体的に本時の内容や自己の学習状況について、具体的に記述できるようになってきてはいるが、次にどう生かすのかが不明瞭である。	振り返りシートを記入する際に、次回にどうつなげるのか声掛けをすると同時に、振り返りシートにコメントを返していく。		

カリキュラムマネジメントの視点から

他教科の教員と授業について積極的に情報交換を行い、実生活とのかかわりの中で数学が活用されている場面を理解できるようにしていく。